



(一社) 日本歯車工業会 議事録

会議名	開催日時・場所
2019年度 第3回理事会	2019.7.9 (金) 15:00~17:00/東京:機械振興会館 5階 5S-1 会議室
出席者 (敬称略)	<p>(会長) 栄野隆 (副会長) 植田昌克、池滝重隆、菊地義典  (理事) 辻勇、大久保利彦、田口哲也、田中文彦、宇根宏、高橋丈助、喜多裕、小原敏治、松波俊宣、井田斉昭、津井克巳、加納孝樹、猪村美之、入江政幸、中西浩  (監事) 小松滋 矢都木力 (来賓) 経済産業省 製造産業局 産業機械課 係長 渡部圭次様  (オブザーバー) ㈱日立ニコトランスミッション 片山正典 (事務局) 本島浩美  以上 23 名出席 (理事 18 名、監事 2 名、来賓 1 名、オブザーバー 1 名、事務局 1 名)</p>
議 事	
<p>理事定数 21 名のところ出席理事 18 名、定款第 36 条に定める理事の過半数の出席により本理事会が成立している旨報告があった。定款第 39 条に基づき栄野会長、小松監事、矢都木監事を議事録署名人に選任し、議長に栄野会長が就任の上、下記議事を進行した。</p>	
事項・資料	議題 / 決定・検討事項
<p><b>【会長挨拶】</b></p> <p><b>【来賓ご挨拶】</b></p> <p><b>【審議・承認】</b></p>	<p><b>挨拶 (栄野会長)</b></p> <p>直近の出来事として大阪は市民生活にも影響がでるような出来事、大阪サミットが開催された。経済への影響としては、株価は今のところ大きな値動きは無いが、今後に注視する必要がある。さて、当工業会に目を移すと各事業は進捗しており、ギヤカレッジは5月末に開講式終了後、今日・明日と授業がこの会館内で行われている。その他事業も徐々に始動し始めている。5月に総会を終えて理事の方々の就任あるいは再任後の理事会となるので、歯車工業会の事業を進めるにあたり、本日は今年度の事業計画についてご審議いただきたい。</p> <p><b>ご挨拶 (経済産業省 製造産業局産業機械課 係長渡部 圭次様)</b></p> <p style="text-align: right;"><b>【資料】2019年版ものづくり白書 (概要)</b></p> <p>我が国製造業を巡る現状と課題から競争力強化に向けた4つの方策をご説明頂いた。続いて平成30年度モノづくり基盤技術振興施策の中から『世界で勝ち切るための戦略-Connected Industriesの実現に向けて』『ものづくり企業の基盤を支える技能』等興味深い内容を中心にご案内・報告をいただいた。</p> <p><b>(1) 2019年度日本歯車工業会の事業方針及び組織体制 (栄野会長)</b></p> <p style="text-align: right;"><b>【資料 No. 1】2019年度日本歯車工業会の重点事業(案)</b></p> <p>昨年11月に80周年を終え、次は100周年を視野に入れて3つの柱『(1)国際競争力強化を踏まえた事業推進、(2)次世代経営者・技術者育成事業継続、(3)魅力ある企画立案と実行』を中心に事業を展開していく旨、説明あった。</p> <p>歯車工業会は4年連続、会員数増加の傾向になっているが、更に会員の勧誘・増強に会員の皆様のご協力を頂きたい。収益・費用については、会員増に伴い収入増となり事業資金が増えている。昨年度の実績は会員増による収益と周年事業によるものが大きい。</p>

期末残高についても一時期に比べて回復してきた。今後は有効活用。人作りに力点を置いて予算の行使に工夫をしていきたい。

組織体制について、変更点(朱記)を中心に会長より説明がなされ、事業方針と共に承認された。  
(詳細は資料 No. 1 による)

## (2) 各委員会の事業計画策定

### 【資料 No. 2】各委員会の 2018 年度の実施状況と 2019 年度の方針・実施計画 2019 年度(一社)日本歯車工業会年間予定表(案)

#### 経営研修委員会(菊地委員長)

昨年に引き続き今年は 3 回の経営研修会を予定している。①7/18~19(株)日立ニコトランス ミッション・(株)長岡歯車製作所、②ベトナム(ハノイ)、③(株)小松製作所を予定

#### 標準化委員会(植田委員長)

昨年まで 5 つの委員会から構成されていた委員会を一つにした。主な活動を ISO 対応と JIS 規格の見直しに絞り込む。日本で日本歯車工業会のみが ISO/TC60 の P(パーティシペイト)メンバーとして積極的に関係しており、単なる形でなく組織として対応する必要がある。現在 P メンバーとして参加出来ているが、対応出来ないと O(オブザーバー)メンバーに格下げされて意見出来なくなる。これの対応に新たに発足した標準化委員会(構成メンバー 10 名)が積極的に関与してグローバル対応に貢献すると共に、今後いろんな形で ISO 規格の動向を発信していく。JIS 規格改定については JIS B1702-03 の改正を行う。

#### JGMA ギヤカレッジ企画・運営委員会(事務局)

今年度は、募集開始前にアクセスが集中しホームページに開始情報のアップデートが出来ない。募集開始日中に応募枠が埋まってしまうという混乱を来し、ご迷惑をおかけした。従来の応募方法にとらわれず、公平な募集を可能にする方法、手順等、委員会を通じて見直しをする。  
ギヤカレッジ・フォローアップ研修企画・運営委員会(加納委員長)

従来固定メンバーで開催していたが、今年は委員も新たに増員、卒業生全員を対象として声をかけて全国から参加募集とする。運営は基本的には研修生の自主運営、テーマを決めて研修会を行う。身近な困り事をエンジニア同士で共有し問題解決に結びつける。次回 8 月 23 日は“材料”をテーマにして応用科学研究所の久保理事長より基調講演を頂く。

#### 技術・企画事業委員会(辻委員長)

今年より大久保理事に副委員長として加わっていただき、若手経営研究会の幹事役として活動して頂く。若手経営者が抱えている問題を枠に嵌めずに討議対象にして活動していく。共有の課題を、コミュニケーションを図りながら今後の運営方法を決めていく。また、RCに関連して機械学会の先生とのつながりも大切にしていきたい。

#### 海外調査・対応委員会(植田委員長)

今年の 9/15-22 EMO の他、欧州視察の企画に対し 21 名の応募をいただいている。

#### 広報委員会(井田委員長)

JGMANews とホームページを使って会員の皆様に発信していく。今歯車製造便覧の販売に向けた広告を作成中。

#### JGMATE プロジェクト運営委員会(池滝委員長)

昨年製作した装置を品川重工に設置し、今年から測定可能になった。今年度は測定サービスと鋼材の JGMA 規格の制定を中心に活動を行い、来年の 4 月に JGMA 規格発行を目標とする。

**東日本支部（菊地支部長）**

8月22日に小原歯車工業(株)で歯車入門勉強会を実施する。

**中日本支部（池滝支部長）**

現在企画中であるが、中部地区では自動車関係の企業が多い。異業種の企業など時期を含めて今後検討を進める。

**西日本支部（事務局）**

2020年1月24日に西日本賀詞交歓会(大阪商工会議所)を開催する。

**総務委員会（井田委員長）**

基本的には収支予算・決算、事務局運営に関するフォローを行っていく。

以上、2019年度日本歯車工業会の事業方針及び組織体制について説明・報告の後、賛成多数で原案通り可決された。

**(3) 新規入会の承認について（事務局）**

**【資料 No. 3】 入会申込書**

**【資料 No. 3】 入会申込書** 北井産業株式会社(賛助会員)(紹介者：小原歯車工業(株) 小原社長)から新会員の新規加入について小原副会長より説明があり、承認された。

**(3) 総務委員会規定の改定（井田委員長）**

**【資料 No. 4】 総務委員会規定要綱**

内容の大きな変化点はない。要綱の大きな定款に沿い①条、②組織名称、③任期の変更の変更を行った点について説明があり、承認された。

**【報告事項】**

**(1) 歯車製造便覧、JGMA 規格集 (DVD) の販売状況について（事務局）**

歯車製造便覧は販売開始より7月5日現在で66冊、JGMA規格全集についても12枚と好評販売中であり更に広告を行う。8月の機械学会誌に販売広告を掲載予定。

**(2) 統計資料について（事務局）**

4月の段階で全会員様にお願いしたが、今日現在45社から回答を得た状況である。統計資料は会員の皆様だけでなく、経済産業省、日本機械連合会に報告する重要な統計資料であることを認識頂き、引き続き提出にご協力をお願いしたい。

**(3) その他**

**1) 2020年度卒業・修了予定者等の就職・採用活動に関する要請（栄野会長）**

**【資料 No. 5】 2020年度卒業・修了予定者の就職・採用活動に関する要請について**

資料 No. 5 を元に栄野会長から説明があり、また理事に現状の採用活動について報告を頂いた。



**2) 鋼材評価サービスのご案内（池滝委員長）**

**【資料 No. 6】 鋼材サービスのご案内**

本年度は、開発機の2台を用いて会員企業様の鋼材や今後使用予定の鋼材の硬度測定サービスを有料にて実施する予定。寄付（一口20万円）して頂いた特典として初回の測定は無料で提供する。

	<p>3) ベトナム経営研修会のご案内（菊地委員長）</p> <p style="text-align: right;">【資料 No. 7】 第 37 回経営研修会開催のご案内</p> <p>現地合流の参加者を含め、現在 9 名の申込を頂いている。内容的には非常に良い内容となっている。定員は 30 名、申込期日 9 月 19 日（水）で募集中につき社内に声掛けをお願いします。</p> <p>4) ISO 国際会議開催について（植田委員長）</p> <p>今年は日本開催で 1 グループは 11 月 15 日～16 日、別のグループは 11 月 18 日～19 日。会議の出席は限られているが、ワーキンググループメンバーとの懇親会を予定している。</p> <p>5) 景況報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・標準歯車の製造業で、6 月単月では 10～15% 売上げが落ちている。中国向け受注が米中貿易摩擦の影響で左右される懸念あり。気になる点は増税による駆け込み需要があるのか、在庫準備をしている（A 社）</li> <li>・即位礼等の稼働日、ゴールデンウィークの変動による影響により減産となった（B 社）</li> <li>・2020 年度は東京オリンピックによる影響は物流に出るのではないかと心配している。（C 社）</li> <li>・中型歯車製造、ハイブリッドの売れ行きに影響されている。電動化に向けた動きが出てきている。ハイポイド系は減産傾向。自動車として EV 系市場は拡大を見込まれているがどのように影響されていくかはまだ先行き不透明（D 社）</li> <li>・建設機械、建機は微減と言われている。大型は堅調に伸びている。中国向けの売上が不透明で売上げが下がっている。北米・欧州は伸びると見込んでいる（E 社）</li> <li>・農業機械、エンジンはアメリカ方面に輸出堅調。インド向けは順調に伸びている（F 社）</li> </ul>
<p>【添付資料】</p>	<p>【資料】 2019 年版ものづくり白書（概要）</p> <p>【資料 No. 1】 2019 年度日本歯車工業会の重点事業（案）</p> <p>【資料 No. 2】 各委員会の 2018 年度の実施状況と 2019 年度の方針・実施計画 2019 年度（一社）日本歯車工業会年間予定表（案）</p> <p>【資料 No. 3】 入会申込書 北井産業㈱</p> <p>【資料 No. 4】 総務委員会規定要綱</p> <p>【資料 No. 5】 2020 年度卒業・修了予定者の就職・採用活動に関する要請について</p> <p>【資料 No. 6】 鋼材サービスのご案内</p> <p>【資料 No. 7】 第 37 回経営研修会開催のご案内</p>
<p>次回開催日</p>	<p>2019 年度第 4 回理事会   2019 年 9 月 27 日（金） 15：00～17：00 / 大阪・メルパルク大阪</p>

以上

2019 年 7 月 5 日  
 一般社団法人 日本歯車工業会  
 会長 栄野 隆   
 監事 小松 滋   
 監事 矢都木 力 